

令和4年度1月定例記者会見 次第

日時：1月25日（水）13時30分

会場：糸島市役所 庁議室

【出席者】

〔伊都国記者会〕朝日新聞社、糸島新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、
読売新聞社、NHK福岡放送局、時事通信社

〔糸島市〕市長、副市長、教育長、関係課（下記参照）

1 市長あいさつ

2 案件

（1）市長発表

- | | |
|--------------------------------|-------|
| ①令和5年糸島市議会第1回臨時会提出議案について | 総務課 |
| ②令和4年度糸島市一般会計補正予算（第11号）の概要について | 財政課 |
| ③いとしまSDGs再発見プロジェクト事業成果発表会開催 | 情報政策課 |

（2）その他

- | | |
|---------------------|--------|
| ①糸島のママが作る！子育て情報紙が完成 | 子育て支援課 |
|---------------------|--------|

3 懇談・その他

引き続き、株式会社サワライズとの災害関連協定締結式を実施しますので、ご参加いただきますようお願いいたします。

【時間】定例記者会見終了後

【会場】糸島市役所第1委員会室

■次回定例記者会見の開催日時（予定）

日時：2月21日（火）13時30分～

場所：糸島市役所 庁議室

令和5年糸島市議会第1回臨時会提出議案について

- ☆ 1月31日に開会予定の糸島市議会第1回臨時会に付議する議案を、24日に送付いたしました。
- ☆ 案件といたしましては、議案第1号「令和4年度糸島市一般会計補正予算（第11号）」のほか、報告2件を提案させていただくこととしております。

※提出議案 1件

- ◇ 補正予算〔1件〕
令和4年度糸島市一般会計補正予算（第11号）

※報告 2件

- ◇ 議会の委任による専決処分について（市が管理する駐車場内の横断側溝による車両事故の損害賠償及び和解）
議会の委任による専決処分について（市が管理する簡易テントの飛来による建物等破損事故の損害賠償及び和解）

- ☆ 議案の内容といたしましては、

●令和4年度補正予算（1件）

【財政課】

議案第 1 号 令和4年度糸島市一般会計補正予算（第11号）

- ※ 今回の補正：9,529万9千円を追加し、予算総額486億829万円とする。

【別途財政課作成資料あり】

●報告（2件）

【ブランド政策課】

報告第 1 号 議会の委任による専決処分について（市が管理する駐車場内の横断側溝による車両事故の損害賠償及び和解）

- ※ 市が管理する駐車場内の横断側溝による車両事故の損害賠償及び和解について、地方自治法第180条第1項の規定により専決処分をしたので、同条第2項の規定により、議会に報告するもの。

[事故の概要]

市が管理する駐車場を相手方の車両が走行中、駐車場内の横断側溝を通過する際、横断側溝のグレーチングが跳ね上がり相手方の車両の右フロント下廻りと接触した。これにより、相手方の車両の右フロント下廻りが破損した。

過失割合 市 100% 相手方 0% 損害賠償額 196,218円

【文化課】

報告第 2 号 議会の委任による専決処分について（市が管理する簡易テントの飛来による建物等破損事故の損害賠償及び和解）

※ 市が管理する簡易テントの飛来による建物等破損事故の損害賠償及び和解について、地方自治法第180条第1項の規定により専決処分をしたので、同条第2項の規定により、議会に報告するもの。

[事故の概要]

深江石町遺跡埋蔵文化財発掘現場に設置した市が管理する簡易テントが強風により飛び、相手方が所有する建物の雨樋及び木塀の一部を破損させた。

過失割合 市 100% 相手方 0% 損害賠償額 120,000円

◆問合せ先

総務部 総務課 （担当：藤嶋）

TEL 323-1111（代表） 内線1210

332-2100（直通）

令和4年度補正予算(第11号)の概要 (令和5年 第1回臨時会)

■一般会計補正予算(第11号)

補正額 9,529万9千円の追加

補正後予算総額 486億829万円

今回の補正予算は、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境を整備するため、妊娠期から出産・子育てまで一貫して相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談支援【面談】を充実し、あわせて出産・子育て応援給付金【経済的支援】を一体として実施するための経費を計上しています。

財源については、国庫支出金、県支出金等で対応しています。

【歳出】

3 款 民生費

◆P10～11 職員人件費 18万3千円
【総務課】

4 款 衛生費

◆P10～11 職員人件費 34万3千円
【総務課】

◆P10～11 出産・子育て応援給付事業費 9,637万9千円

伴走型相談支援【面談】と併せて出産・子育て応援給付金【経済的支援】を一体化して実施

○伴走型相談支援：糸島市子育て世代包括支援センター「いとハピ」において実施

- ①妊娠届出時の面談
- ②妊娠8カ月頃の面談
- ③出生後の面談
- ④面談後の情報発信、随時の相談受付等

対象者：市内に住所を有する全ての妊婦及び主に0歳から2歳の乳幼児を養育する子育て世帯

○出産応援給付金：6,100万円（国・県補助）

妊娠1回につき、現金5万円給付

対象者数：1,220人

○子育て応援給付金：3,000万円（国・県補助）

対象児童1人につき、現金5万円給付

対象者数：600人

○事務費：537万9千円（国・県補助）

【子育て支援課】

【歳入】

15款 国庫支出金

◆P8～9 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 1,555万1千円

【企画秘書課】

◆P8～9 出産・子育て応援給付事業 6,419万9千円

【子育て支援課】

16款 県支出金

◆P8～9 出産・子育て応援給付事業 1,554万9千円

【子育て支援課】

【繰越明許費】

◆P4 出産・子育て応援給付事業 5,460万円

給付費（9,100万円）のうち5,460万円について繰越明許費を設定

【子育て支援課】

糸島市×テレビ西日本×西日本新聞社×糸島新聞社 連携事業

いとしまSDGs再発見プロジェクト 成果発表会

都市近郊でありながら、海・山・大地、四季折々に美しい光景が広がる糸島市。この豊かな自然は、遥か昔から先人たちが脈々と残してくれた、かけがえのない宝物であり、今を生きる私たちが、その恩恵を受けられるのは、自然を守るために地道な活動続ける人々がいるからです。

そこで、本プロジェクトでは、小学生・高校生・大学生で結成した「SDGs 探検隊」が、市内で持続可能な取り組みを実践している人たちを訪ね、「農業（Aチーム）」、「林業（Bチーム）」について密着取材。自然と向き合う人々の姿から学んだこと、これから自分たちができることなどを発表します。

■成果発表会

日 時：令和5年1月28日（土）14時～

場 所：糸島市立前原南コミュニティセンター「みなみ」 大研修室

【参考：事業概要】

➤ 目的

小学生から大学生が探検隊を結成し、SDGsの達成に向けた取り組みを展開する市民や事業者等を訪ね、その姿を取材し、その成果物を市民等に公表し、SDGsへの理解促進を図る。これにより市民一人ひとりが自ら課題に向き合い、主体的に解決策を考える機会を創出し、行動変容を促す機会とする。

➤ マスコミとの事業連携

探検隊の活動に密着取材して、本プロジェクトの目的を広く伝えることを目的に、（株）テレビ西日本、（株）西日本新聞社、（株）糸島新聞社と「SDGs再発見プロジェクト事業連携協定」締結（令和4年8月19日）

➤ 活動内容

令和4年8月19日

同年10月～11月

同年12月～令和5年1月

SDGs探検隊発足

取材活動（別紙のとおり）

動画編集作業



連携協定締結



探検隊発足

【問い合わせ先】

糸島市 経営戦略部 情報政策課（三嶋）

電話：092-332-2101 メール：joho@city.itoshima.lg.jp

令和4年度 いとしま SDGs 再発見プロジェクト 活動内容

【Aチーム】 小学生3人、糸島農業高生1人、九州大学生1人

活動日	取材対象、学んだこと	活動風景
10月9日	<u>JA糸島 古藤俊二さん</u> シーライム（カキ殻リサイクル土壌改良材）や、すてんなな君（段ボールコンポスト）など、古藤さんのアイデアから生まれたオリジナル商品。海・山・大地の資源の循環を生み出している糸島ならではの取り組みであることを学びました。	
10月23日 11月3日 11月20日	<u>芥屋かぶの継承人 東紀子さん</u> かつて芥屋集落で盛んに作られていましたが、今は数軒の住民により細々と守れている「芥屋かぶ」。毎年種を残し続けることで、約300年継承されている貴重な地域野菜です。酢漬け以外にも、スムージーやお寿司など、若い人でも美味しい食べ方を研究して広めることで、絶やすことなく未来に残す大切さを実感しました。	 

【Bチーム】小学生3人、糸島高生2人、九州大学生1人

活動日	取材対象、学んだこと	活動風景
10月9日	<u>白糸の森 大串幸男さん、前田和子さん</u> ツリーハウスとカフェの組み合わせが、インスタスポットとして人気の白糸の森「森のカフェ」を訪問。 森は本来、雨水を何年も貯水し、ゆっくりと染み出すことで海の養分になること、この森は管理不十分で実は瀕死の状態であること、森の現状を知ってもらうためにカフェ経営していることを教えてもらい、間伐の大切さを知りました。	
11月3日	<u>Engawa project 松本崇人さん</u> 篠原にある古民家を、DIYでリノベーションする学生サークルを訪ね、皮むき間伐した木材を床材として再利用する様子を見学。糸島の森で育った木が、床材として生まれ変わり、これから何年も活用されることの意義を学びました。	
11月23日	<u>きこり・木作家 薦田雄一さん</u> 昔は人々の生活に不可欠だった木材だが、近年では海外の安価な材が主流で、国内の森に人の手が入らず荒れ放題であることを知りました。木を伐ること、森が元気になること、伐った木で作ったクラフトを買って使うことで林業を支援できることなどを実感しました。	

糸島のママが作る！子育て情報紙 「たよれる たすかる たのしめる いとしまの子育て」完成 & 1月31日 公開講座を開催

令和4年10月から8回の講座（別紙参照）を実施し、子育て期の女性が取材・記事作成の技術を身につけ、卒業制作として、当事者視点を生かした糸島市の子育て情報紙を作成しました。

子育て情報紙「いとしまの子育て」

- 仕様：A3四つ折りオールカラー（仕上がりA5版）
- 数量：2000部
- 配布場所：子育て支援センターなどの公共施設、乳幼児健診実施場所など
- 冊子の特長：ママの視点で、いざという時に頼れるキーパーソン情報、遊び場や地域イベントなどの役立つ情報を掲載。「自分と同じように糸島で子育てする人たちに、糸島の子育てをもっと楽しんでもほしい。頼れる人たちがいることを知ってほしい」との思いが込められ、住んでいるからこそ知っている、暮らしに密着した子育て情報が満載です。



※現在校正中のため変更になることがあります

第8回（最終回）公開講座 一般参加者を募集

最終回では完成した情報紙を披露し、公開講座を開催。糸島で子育てをしながら、仕事や地域活動をする3人のママたちに、それぞれの子育てや地域での関り、仕事について伺います。また、「自分がこれからやりたいこと」をテーマにグループトークを実施します。

◆日時 1月31日（火）10時～

◆会場 男女共同参画センターラポール（神在西3-1-5）

◆内容 【公開講座】「糸島のママが作る！子育て情報紙作成講座」

～子育てと自分のやりたいことについて考えてみよう～

【グループトーク】「自分たちがこれからやりたいこと」

参加申込みフォーム



この講座は、イオン九州株式会社、株式会社ダイエー、大坪 GSI 株式会社、トヨタ L&F 福岡株式会社、西部ガスホールディングス株式会社からの「福岡県共助社会づくり基金」への寄附金を活用して実施しました。

【問い合わせ】

糸島市ママトコラボ協議体

（一社）ママトコラボ kouza01@mamatocolab.com

糸島市子育て支援課（子育て支援センターすくすく）電話（321）0464



糸島のママが作る！

未経験者大歓迎！

仲間や地域との
つながりが広がる！

子育て情報紙作成講座

受講生募集

作った情報紙は
実際に配布！

子育て中の女性ならではの視点を生かし、チームで糸島の子育て情報紙を作る講座の受講生を募集します。作成した情報紙は、乳幼児健診の際や糸島市の公共施設などで配布されます。

発信することで誰かの役に立ちたい、糸島での暮らしや子育てをもっと楽しみたいというママさん、ぜひご参加ください。



開催時間

各回10時～12時15分（全8回）



開催日	内容
①10月4日(火)	開講式、「探そ！地域の物語～それは、子どもたちへのギフト」 【講師】高山 美佳氏 (STORY DESIGN 代表)
②10月13日(木)	「伝わる文章を書こう」 【講師】佐々木 恵美氏 (フリーエディター・ライター)
③10月25日(火)	「プロから学ぶ取材写真の撮り方講座」 【講師】渡邊 精二氏 (フォトグラファー)
④11月 8日(火)	「すぐに書かないライティング術」 【講師】尾崎 恭子 (一社) ママトコラボ代表理事、 フリーライター
⑤11月10日(木)	「これで安心！取材の準備と実践」 【講師】佐々木 恵美氏
⑥11月29日(火)	紙面企画会議、取材先決定、取材記事作成 【ファシリテーター】尾崎 恭子
⑦12月20日(火)	取材記事の個別アドバイス 【アドバイザー】佐々木 恵美氏
⑧令和5年 1月31日(火)	【一般公開】 情報紙紹介、子育て座談会、閉講式

※新型コロナウイルスの影響により、オンライン (Zoom) での開催になる場合があります。

主催：糸島市ママトコラボ協議体

〈糸島市子育て支援課、(一社) ママトコラボ〉

この講座は、イオン九州株式会社、株式会社ダイエー、大坪GSI株式会社、トヨタL&F福岡株式会社、西部ガスホールディングス株式会社からの「福岡県共助社会づくり基金」への寄附金を活用して実施しています。

対 象 0～18歳のお子さんがある糸島在住の女性

募集人数 10人

受講要件

- 全ての開催日に参加できる人
- 基本的なパソコン操作 (ワード、エクセル、インターネット接続) やデジタルカメラ操作ができる人
- パソコン・デジタルカメラを持参できる人
- 糸島の子育て環境充実のために貢献したい人
- 講座修了後、糸島市やママトコラボで行う活動に関わる意思のある人

受講料 全8回で2,000円 (取材などにかかる交通費は各自実費負担)

託 児 無料 (3カ月～就学前)、3～5人程度
※申し込みフォームから要予約

場 所 男女共同参画センターラポール
(神在西3-1-5)

受講申し込み方法

「糸島ささ日 子育て情報紙」で検索するか、
右の専用申し込みフォームよりお申し込みください。

申し込み
フォーム



締め切り 9月20日 (火)

※応募者多数の場合は抽選を行い9月24日 (土) ごろにメールで結果をお知らせします。

申し込み・問い合わせ

(一社) ママトコラボ ☎kouza01@mamatocolab.com